



SBS GROUP CSR REPORT 2011



SBSグループの 経営理念

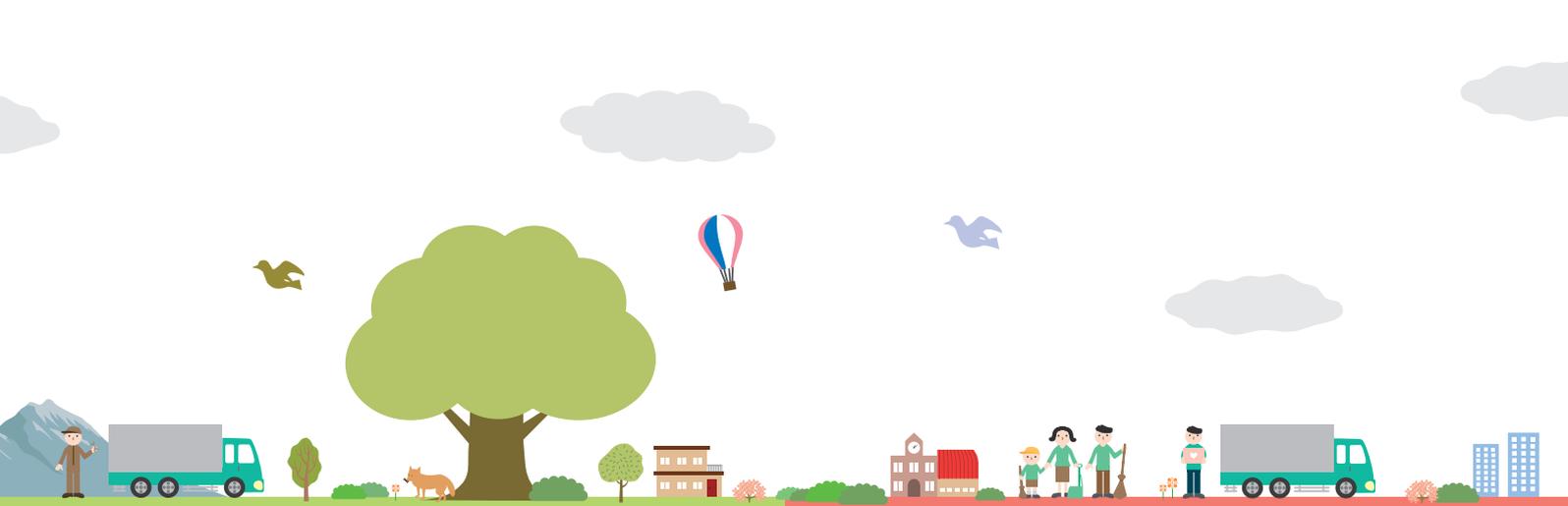
我々の提案するサービスによって、
お客様に喜ばれ、株主に喜ばれ、
そして社員の幸せにつながる会社を目指す。

企業の永遠の繁栄は、
人を大事にすることにある。

みなが生き生きと働くことが繁栄をもたらす。

社会的責任なくして企業の発展はあり得ない。

社会と共に生き、人々に喜ばれ、
広く内外社会の発展に貢献する。



編集方針

本報告書は、株主、お客様、従業員、取引先などの各ステークホルダーの皆様へ、安全や環境などへのSBSグループの姿勢と取り組みについて、より理解を深めていただくために作成しました。わかりやすい表現を心がけ、簡潔・明瞭にご報告いたします。

●対象組織

SBSホールディングスならびに、グループ各社の活動実績を対象としています。

●対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日
(一部対象期間外の活動も含みます)

●参考にしたガイドライン

「環境報告ガイドライン(2007年版)」(環境省)
「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2006」
(Global Reporting Initiative)

●その他の情報提供手段

本報告書は、SBSホールディングスのウェブサイトからもダウンロードできます。
(<http://www.sbs-group.co.jp/>)

●発行年月

2011年12月

●次回発行

2012年秋を予定

●発行責任

SBSホールディングス株式会社
IR・広報部 CSR・環境対策推進室
TEL:03-3829-2240/FAX:03-3829-2822

CONTENTS

SBSグループの概要 03

TOP MESSAGE 04

 コーポレート・ガバナンス 05

 安全への取り組み 07

 環境への取り組み 13

 社会とのかかわり 19

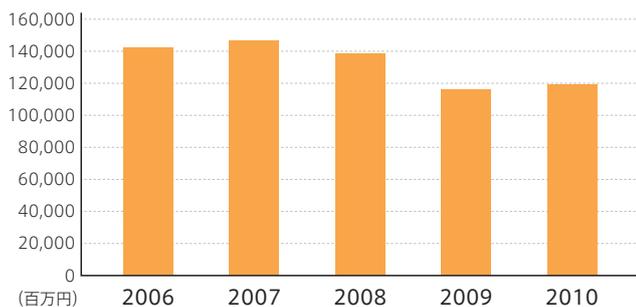
SBSグループの概要

SBSホールディングス株式会社

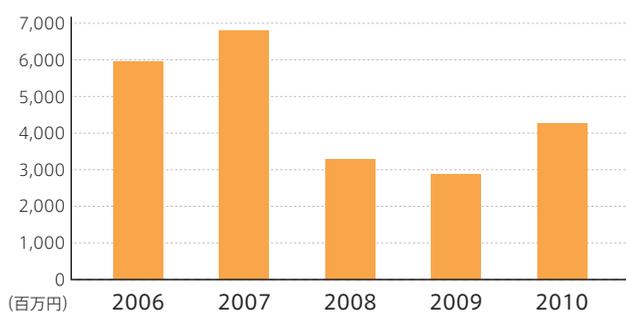
代表者 … 代表取締役 鎌田正彦
所在地 … 〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー
TEL …… 03-3829-2222 (大代表)
FAX …… 03-3829-2822
設立 …… 1987年12月16日
資本金 … 38億3,393万円 (2010年12月末現在)
売上高 … 1,198億円 (2010年12月期 連結実績)
従業員 … 11,377名 (うち正社員4,228名、2010年12月末現在、連結)

財務ハイライト(連結)

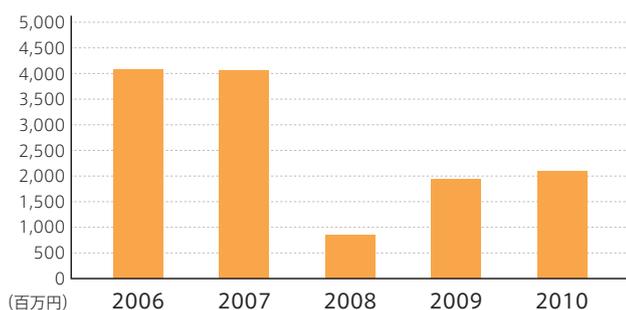
売上高の推移



営業利益の推移

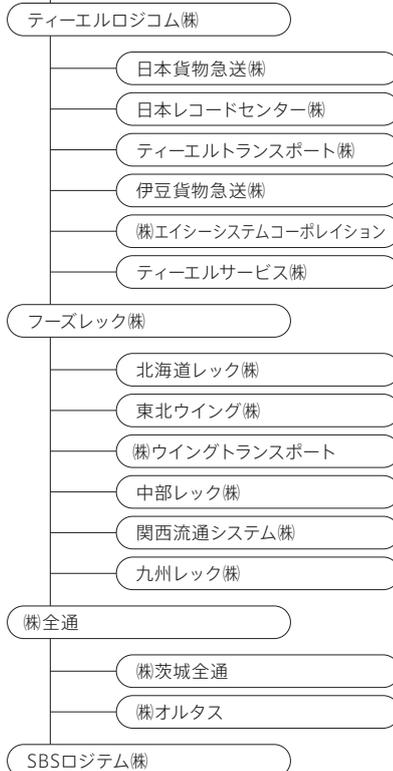


純利益の推移

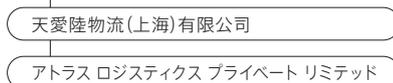


SBSグループ企業一覧

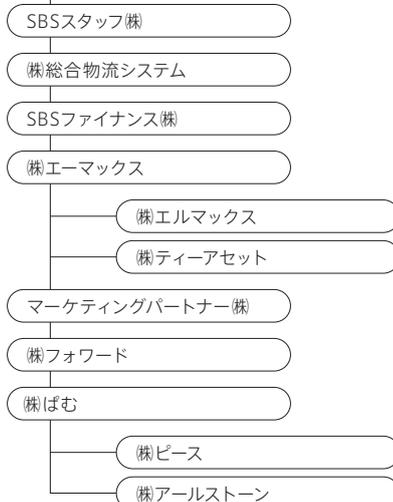
国内物流グループ



海外物流グループ



物流支援グループ



※ SPCを除く(2011年10月末現在)

TOP MESSAGE

はじめに、このたびの東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復興をお祈りしております。

さて、私たちSBSグループは、輸送・保管・流通加工・情報システムなどの物流業務を一括して受託する3PL事業を中心に、その周辺業務も含めた総合的な企業間物流サービスを提供しています。

物流は、あらゆる産業にかかわりを持ち経済活動に不可欠な社会インフラです。今回の大震災でその重要性を改めて認識いたしました。物流を担う私たちは、自らが果たすべき役割と責任の大きさをしっかりと自覚しなければなりません。

一方、グローバル化・情報化の進展、相次ぐ企業不祥事の発覚、資源枯渇・環境汚染による環境問題の深刻化などを背景に企業への要望が多様化し、求められる責任範囲も拡大しています。

私たち企業には、ステークホルダー（株主、お客様、従業員など）の皆様との関係を重視し、社会との共生、発展を目指すCSR経営が求められています。当グループはこの状況をしっかりと認識し、CSR経営の推進を図り、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

CSR経営を着実に推進します。
社会の期待に答え、社会の期待に背かない

私たちはCSR経営の徹底にむけて『SBSグループ行動憲章』を制定し、グループの役員・従業員ひとり一人が守るべき行動基準としています。全員がこれを共有、自覚し、業務の中で日々実践するよう努めております。

2011年度は、内部統制やリスク対策などコーポレート・ガバナンスを充実させ、運輸安全マネジメントの強化やエコ安全ドライブの推進など安全、環境対策にも力を入れました。一方、未曾有の災害となった大震災に対しては、国、自治体や大手メーカーなどからの要請による救援物資の緊急輸送など、物流の側面から復旧に微力ながら尽力いたしました。

私たちは、「CSR経営とは、社会の期待に応え、社会の期待に背かないことである」と考えます。当グループが持続的発展を図るには、皆様とのコミュニケーションが不可欠です。皆様には私たちの活動に対するご意見やご感想をお寄せいただくとともに、今後もより一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



SBSグループ代表

鎌田 正彦



社会から信頼される グループ経営に努めます



コーポレート・ガバナンスの考え方

SBSグループは、純粋持株会社を中心に30社を超える事業会社で構成される企業集団としてグループ経営の推進が重要であると考えます。

すなわち、当グループが社会から信頼を得て企業価値の継続的な向上を実現するためには、常にグループ全体の経営の効率性、健全性、透明性を確保しなければなりません。

私たちは、この実現に向けて「SBSグループ行動憲章」に則り「内部統制」「コンプライアンス」そして「リスク管理」を経営の重要な柱としてコーポレート・ガバナンス体制の構築を進めてまいります。



内部統制体制の整備

財務報告の透明性と信頼性を確保

2006年5月の新会社法施行や2009年12月期からの内部統制報告書提出義務化など、近年、社会は企業の財務報告に一層の透明性・信頼性を求めています。

SBSグループは、これを業務の効率化、リスク対応力の強化、グループ経営の推進等に伴う企業価値向上の好機と捉え、体制の整備を進めてまいりました。今後も、経営を支える重要なインフラのひとつである内部統制の維持・向上を図ることで、社会からの要請である「財務報告の透明性と信頼性」の確保に努めます。

コンプライアンス委員会

法令違反の監視と再発防止に向けて

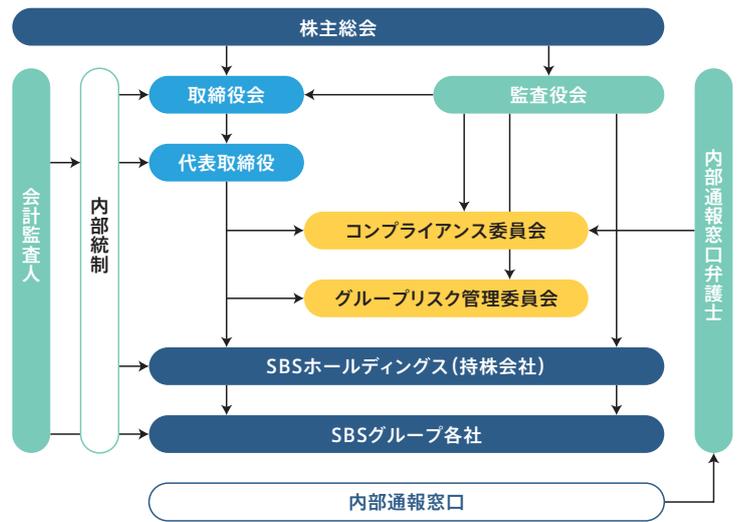
SBSグループは、「SBSグループ行動憲章」および「SBSグループ企業倫理規程」を制定し、法令順守に留まらず企業倫理にまで踏み込んだコンプライアンス体制の整備とその推進に取り組んでいます。

グループ代表を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、グループを挙げてコンプライアンス体制の維持・構築及び社員への啓発活動等を行っています。また、内部通報窓口などによる法令違反の監視を行っているほか、違反発生時には調査、改善の指示などを行い再発防止の徹底にも努めています。

SBSグループ行動憲章



コーポレート・ガバナンス体制 概要図



内部通報窓口

企業としての自浄作用の確保のために

当グループでは、社員やパート・アルバイトなどの従業員を受付対象範囲とする「内部通報窓口」を設けています。この窓口は職制への相談がためられる場合に、従業員が直接相談・通報できるもので、社外の弁護士事務所に設置しています。

また、相談・通報への対応にあたっては、プライバシー保護、不利益処分の禁止など相談者の保護が保証されています。当グループは、この窓口を適正に運営していくことで、コンプライアンスに関する問題を早期に発見・解決し、企業としての自浄作用がより有効に機能するよう努めています。

グループリスク管理委員会

リスク顕在化の未然防止に向けて

SBSグループは、株主、お客様、地域の方々などステークホルダーの皆様の信頼を確保し、企業の社会的責任を果たすため、「SBSグループリスク管理規程」を制定し、経営活動の脅威となり得るすべての事象についてリスク管理の徹底を図っています。

リスク管理システムを維持、運営するため、グループ代表を委員長とする「リスク管理委員会」を設置。グループ各社・各部門は、年間計画に基づき重点リスクを洗い出し、対策を講じます。また、その進捗状況を同委員会でチェックすることでリスクの顕在化の未然防止に努めています。



経営の最重要課題として 事故防止に取り組みます



安全に対する考え方

物流事業を主力とするSBSグループは、「安全最優先の原則」を
 経営の最重要課題のひとつとして位置付け、グループ力を結集して事故防止に取り組んでいます。
 グループ各社が日々行う安全管理・運行管理はもちろんのこと、グループ横断組織による
 教育や指導を実施し、3千人のドライバーひとり一人に対して安全意識の浸透を図っています。
 「輸送の安全確保」「交通事故防止」は私たちの責務であり、
 その継続的な実現によってのみ、お客様そして社会からの信頼を獲得できるものと考えます。



安全対策計画と 取り組み状況

重点課題		
2011年度の状況	安全対策 事故防止	事故の削減 前年度比20%削減 事業所の巡回指導 運輸系の全事業所への 監査と指導の実施 SBSグループ運輸安全 委員会の開催
	社員教育	安全実務セミナーの開催 安全運転教育指導 運行管理のレベルアップ 運行管理者の拡充 免許・資格取得支援研修 安全衛生管理者の拡充 救急救命体制の整備

1. 運輸安全マネジメントの徹底

SBSグループ全体の安全強化を図ることを目的に、横断組織として「運輸安全統括部」を設置し、事故防止や運行管理のレベルアップに取り組んでいます。また「SBSグループ運輸安全委員会」を通じてグループ各社と連携した安全教育および事故防止施策の推進にも取り組んでいます。

2. 社員への安全教育の徹底

社外講師の招聘、自動車メーカー様と協調した講習会の開催、社内講習会等の多角的な教育を通じて、安全意識の浸透と安全対策のための実務指導を行っています。

3. 事故防止施策の徹底

デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーによる運転状況の掌握、事例分析による事故の再発防止、運行管理のレベルアップ等、基本動作の徹底による事故防止施策を行っています。

SBSグループ運輸安全マネジメント 体制図



取り組み状況

- 2009年度比28%削減(2010年度実績)
- 運輸系の全事業所に対して現地確認と運用指導を実施(運行管理・車両管理・作業管理・就労管理・安全衛生・全体管理)
- 四半期単位に定期開催し、安全対策・事故防止・環境対策に向けての、グループ会社で統合的な施策推進を実施
- グループ安全スローガンの制定
「エコ運転!」意識と決意で事故撲滅!!
- 車両の同乗訓練・指差呼称の実践 ● ヒヤリハット研修会
- 現場リーダー強化研修 ● 現場実務者研修
- エコ安全ドライブ研修 ● ナスバネット診断
- 安全性優良事業所(Gマーク)の取得推進
- 運輸安全委員会の開催
- 資格取得のための研修支援
- 資格取得のための研修支援
- 救急救命講習会の受講促進

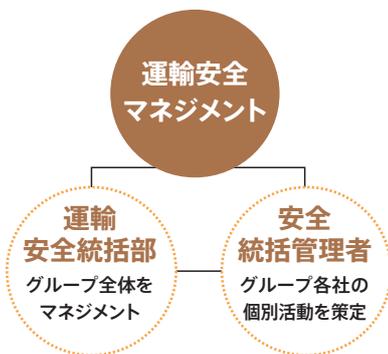
2012年度の計画

重点課題		目標
安全対策 事故防止	重大事故	●ゼロ件
	車両事故削減	●2011年度比10%削減
	労働災害削減	●2011年度比10%削減
社員教育	安全実務 セミナーの拡充	●安全運転教育指導 ●労務管理教育指導
	管理体制の 強化と徹底	●運行管理の徹底 ●就労管理の徹底 ●従業員の健康管理と指導
	免許・資格 取得支援研修	●運行管理者資格取得 ●安全・衛生管理者資格取得 ●救急救命受講者の拡大



SBSグループの安全教育

SBSグループの安全教育は、SBSホールディングス運輸安全統括部が企画運営し、グループ全体を対象とする研修制度と、グループ各社の安全統括管理者が企画運営する研修制度が並行し、補完する体制で実施しています。



安全推進に関する主な教育研修

名称	内容	対象
運輸安全マネジメントセミナー	運行管理知識の向上	運行管理者
労務管理セミナー	労務管理の基礎知識の習得	現場責任者
運輸安全マネジメント研修	運輸安全マネジメントの徹底と推進	各社経営層
コンプライアンスマネジメントセミナー	コンプライアンスの基礎知識	一般社員
エコ安全ドライブ研修	エコで安全な運転方法の習得	ドライバー
ヒヤリハット講習会	危険予知能力の習得	ドライバー
トレーラー講習会	トレーラー独特の挙動特性の理解	ドライバー
フォークリフト安全講習会	フォークリフトの特性理解	オペレーター

伊豆貨物急送

ヒヤリハット研修会の実施

全員に安全教育を徹底しています

伊豆貨物急送では、集合研修に参加することが難しいドライバーや社員を考慮して、自社営業所を利用した各種研修の地域開催を推進しています。特に危険予知能力を向上させ、事故防止に効果が高いヒヤリハット研修を積極的に実施し、全ドライバーの安全意識の向上と徹底を図っています。地域開催で実施する研修は少人数単位で行われるため、受講者の理解度も高く好評です。



ヒヤリとした体験を共有することで、事故の回避能力が向上します



明日からの安全運転に向け、決意を新たにしました

SBSグループ

運輸安全マネジメント研修

グループ各社の経営層にも安全教育を徹底

物流を主力事業とするSBSグループにとって、安全は経営の重要課題のひとつです。当グループでは経営幹部を対象とした運輸安全マネジメント研修を実施しています。運輸業界に精通した外部講師を招聘し、近年発生した事故の事例分析、従業員の安全管理などを学びます。経営幹部は自ら率先して安全管理体制の改善に努めています。



安全指導の大切さを再認識し、各社で対策を推進します

一丸となって安全運転を推進しています



社員の声*女性ドライバーインタビュー



SBSロジテム(株)
椿 末季
(つばき まき)

女性の視点で安全と安心をお届けしています。

私は、商店街やスクールゾーンが多いエリアの配送を担当しています。そのため高齢者の方や小さなお子さんには特に気を配っています。最近はイヤホンで音楽など聴きながら自転車を運転している方が増えたので、自転車の突然の方向転換にも細心の注意を払い運転をしています。配達時は、お客様へ感謝の気持ちを込め、元気な声で「ありがとうございました。」と挨拶するよう心がけています。



SBSグループ 運転適正診断システムを導入

運転適正診断の定期実施で事故防止へ

SBSグループはインターネット運転適正診断システム(ナスパネット)を本社に導入しています。エコ安全運転度、予防安全運転度などのほか、心理的特性や動体視力など運転技能を総合的に診断できます。自分では気が付かなかった習慣が指摘され、ひとり一人の特性にあった安全教育をすることが可能となりました。



SBSグループ トラックの见えない危険を体験します

安全確認の重要性を再認識します

トラックは構造上運転台が高く前方に見通しが良い半面、側面や後方に見えない危険(死角)がたくさん潜んでいます。エコ安全ドライブ研修では、ドライバーひとり一人が実際に運転台に座り、目視・ミラー・バックカメラを使って、周囲に置かれた障害物をどこまで確認できるかを体験します。トラックの運転で、目に映らない場所があることを実体験し、一層の安全運転と事故防止に取り組んでいます。



SBSロジテム スポーツドリンクで水分・塩分補給

節電の夏、安全対策は熱中症対策!

今夏、東京・江東区のSBSロジテム東京配送センターは熱中症対策で配送ドライバーに冷たい“アイソトニック飲料”を用意しました。配送する荷物をトラックに積んだドライバーたちはすでに汗だく。出庫前に喉を潤し水分と塩分を補給します。事務所や休憩室では電力不足による節電でエアコンの使用を控え、運転中はアイドリ



ングストップなど環境対策でエアコンを極力使いません。ドライバーにとっては過酷な夏となりました。暑さは熱中症の危険に加え人間の認知・判断・操作を鈍らせ事故を誘発します。節電の夏の安全対策は熱中症対策が重要です。

社員の声*無事故ドライバーインタビュー



32年間無事故の秘訣は
荷物への思いやり

ティールロジコム(株)
新砂支店 古川輝雄

無事故の秘訣をよく聞かれますが、特別な事はしていません。もちろん、事故を起さないよう最大限の努力を払う必要がありますが、それ以上にお預かりしている荷物を大切に扱う気持ちが重要です。荷物が崩れて破損しないよう丁寧な運転を心がけると、自然に急ブレーキなど「急」の付く運転がなくなり、安全運転につながります。納品時間の問題もありますが、荷物を傷つけたり、事故を起してご迷惑をかけるよりはずっといいと思っています。あせらず、落ち着いて、荷物を安全・確実にお届けすることがプロドライバーの務めではないでしょうか。

最新のEMSで安全運転をサポートしています

SBSグループは、安全な運行体制をより充実させるため、デジタルタコグラフなどの全車装備を進めています。最新の計器は車速やエンジン回転数の記録だけでなく、GPSによる位置情報やエコドライブモード、運転評価システムなどドライバーをアシストするさまざまな機能が

搭載されています。ドライバーと環境への負担を軽減し、安全運転を一層推進させてまいります。



運転席に設置されたデジタルタコグラフと操作端末。さまざまな走行データが記録され、安全教育に活かされます

主なグループ企業の装備状況

会社名	保有車両数	デジタルタコグラフ		ドライブレコーダー	
		装備車数	装備率	装備車数	装備率
ティーエルロジコム	925台	829台	89.6%	830台	89.7%
日本貨物急送	313台	149台	47.6%	—	—
全通	851台	241台	28.3%	—	—
ティーエルトランスポート	167台	150台	89.8%	40台	23.9%
東北ウイング	80台	58台	72.5%	44台	55.0%
九州レック	78台	63台	80.7%	63台	80.7%

※ EMS：「エコドライブ管理システム」(Eco-drive Management System)の略

TOPICS

ドライブレコーダーとは？
走行中に起こった何らかの衝撃(事故や急ブレーキ等)時点から、数十秒間の映像と速度等のデータを記録する機器です。事故やヒヤリハットしたときの映像が記録されるため、これをドライバーへの安全教育にも活用し安全意識と危険予知能力の向上を図っています。



ドライブレコーダーの記録画像。小さなカメラですが、鮮明に記録されます

輸送品質の向上による安全対策の推進

「安全性優良事業所(Gマーク)」は、トラック輸送の安全性に対して第三者による厳しい評価を受け、条件を満たした事業所だけが取得できます。2011年12月末現在、運輸系143の事業所のうち69ヶ所でGマークを取得しています。Gマークの取得により事業所

全体で安全に対する意識が一層高まり、輸送品質の向上および事故の防止効果が期待できます。SBSグループは輸送事業を行う事業所に対して、積極的にGマークの取得を推進し、トラック輸送の安全に対する取り組みを進めていきます。



Gマークの取得状況

会社名	ティーエルロジコム	日本貨物急送	ティーエルトランスポート	伊豆貨物急送	北海道レック	東北ウイング
取得事業所数	19事業所	3事業所	5事業所	2事業所	2事業所	1事業所
会社名	ウイング トランスポート	中部レック	九州レック	全通	総合物流システム	合計
取得事業所数	3事業所	1事業所	3事業所	29事業所	1事業所	69事業所

※ 今年度の取得見込み分を含みます



持続可能な循環型社会の 形成に貢献します



環境に対する考え方

環境問題がますます深刻化する中、企業活動における環境配慮は非常に重要な経営課題です。企業は経済的な価値を追求するだけでなく、環境保全に貢献していかなければなりません。私たちSBSグループは、環境保全に対する基本的な行動指針『SBSグループ環境方針』を策定し、これに則り計画を立案、実行しています。

当グループの主力事業である物流を中心に「車両」「施設」「社員」の3つの経営資源に着目して環境負荷の軽減に取り組み、持続可能な社会の形成に貢献してまいります。



環境行動計画と 取り組み状況

環境アクションプラン2013

環境対策については、2009年度CO₂排出量を基準として2011年度から2013年度までの3か年で、8,500t-CO₂を削減する「環境アクションプラン2013」を作成、取り組みを進めてまいります。

CO₂の全体排出量の削減目標
2009年度比**8,500t-CO₂**削減(10%減)

重点施策	数値目標	CO ₂ 削減量
エコドライブの徹底	年3.6%燃費改善	7,700t-CO ₂
CNG車の導入	新規に39台導入	400t-CO ₂
施設での使用エネルギー量削減	年1%以上の削減	400t-CO ₂

2011年度の状況

重点課題		取り組み状況
CO ₂ 全体排出量の削減		●2010年度排出量78,030t (2009年度比91.9%) ・車両系 63,844t ・施設系 14,186t
車 両	効率化	●エコ安全ドライブの実施
	低公害化	●低公害車の導入(累計817台 導入率28%) ●リトレッドタイヤの活用(687本 利用率8%) ●低燃費タイヤの活用(410本 利用率5%) ●リヤカー付電動自転車の導入
施 設	省エネ化	●社屋緑化の推進 ●ソーラーパネルの導入 ●LED照明・省電力型照明への切替
	省資源化	●グリーン購入ガイドラインの実施 ●リサイクルの推進 ・シュレッダー緩衝材の活用 ・お茶殻封筒の導入
社 員	環境教育	●エコ安全ドライブ推進リーダー育成 ・累計11回 全国291名の推進リーダー育成 ●環境教育の実施(CSR報告書を読む会の実施) ・累計11回 各社リーダー149名参加
	環境啓発	●全従業員向け グループ環境Newsの発行

SBSグループ環境方針

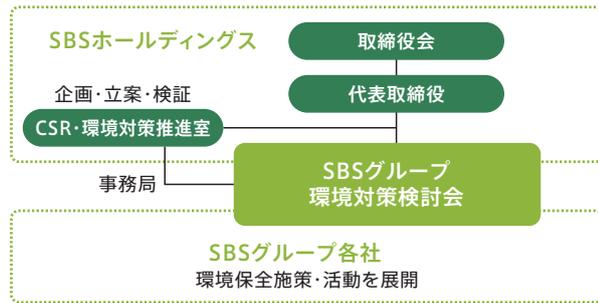
基本理念

SBSグループは、環境問題が地球的規模を持つと共に、次世代以降においても重要な問題であるとの認識を堅持いたします。社会的責任を全うした健全な事業活動を通じ、経済と環境が両立する持続可能な循環型社会構築の一助となるよう努力いたします。

基本方針

1. 資源・エネルギーの有限性を認識した上で、有効利用に努めてまいります。
2. 廃棄物の発生抑制・再利用・リサイクル及び適正処理を実施いたします。
3. 国内外の環境関連法規を遵守いたします。
また、グループ各社は同意した協定等を遵守いたします。
4. 環境教育・啓発活動を通じて、全社員が本方針を周知徹底、実践いたします。
5. 直面した環境問題に対し、グループ各社の垣根なく、能動的かつ機動的に対応してまいります。

環境対策の推進体制



2012年度の計画

重点課題		目標
CO ₂ 全体排出量の削減		●2011年度実績から、2,600t CO ₂ 削減
車 両	効率化	●CNG車など20台導入 ●エコタイヤ・リトレッドタイヤの購入率15%以上
	低公害化	●エコ安全ドライブにより前年燃費4%改善
施 設	省エネ化	●使用エネルギーの1%削減 ●新規施設へのソーラーパネル導入と緑化推進 ●LED照明・省電力型照明の導入
	省資源化	●グリーン購入ガイドラインの実施 ●廃棄物のリサイクル推進
社 員	環境教育	●150名のエコ安全ドライブ推進リーダー育成
	環境啓発	●CSR報告書を読む会の開催 ●グループ環境Newsの発行

環境認証取得の状況

SBSグループでは、ISO14001、グリーン経営認証、エコステージなどの環境に関する外部認証を取得し、より効果的な環境保全活動に取り組んでいます。

認 証	社 名
ISO14001	ティーエルロジコム (8事業所)
	日本貨物急送 (本社および10事業所)
	全通 (本社および4事業所) 総合物流システム (2事業所)
グリーン経営認証	ティーエルトランスポート (本社および2事業所) 伊豆貨物急送 (1事業所) 中部レック (1事業所)
エコステージ1	ティーエルロジコム (2事業所)



特集 エコ安全ドライブ研修

グループを挙げてエコ安全ドライブを推進!

エコドライブは リーダー作りから

SBSグループでは、各職場においてエコで安全な運行を推進するリーダーの育成を目的に、2009年より「エコ安全ドライブ研修」を実施しています。自動車メーカー様のご協力をいただき、物流事業者単独では実施が難しい実践的かつ専門性の高いカリキュラムで構成された研修です。

研修にはグループ各社より選ばれたドライバーや運行管理者などが参加し、エコドライブ技術の習得はもちろん、危険予知能力や車両点検技術の向上、そして環境問題の理解など多岐に亘る講座を受講します。

今回の特集は、このエコ安全ドライブ研修の様子をご紹介します。



1日目(座学)

- 環境問題を考える
- 危険予知トレーニング
- 交通事故の撲滅に向けた取り組み
- エコ安全ドライブリーダーの役割
- グループ討議 ほか

2日目(走行研修)

- 走行研修(1回目:通常走行)
- エコドライブの手法について
- 走行研修(2回目:エコドライブ)
- 安全講習
- 研修レポート作成
- 終了証の授与 ほか

研修の内容とスケジュール

このエコ安全ドライブ研修には毎回25名程度が参加します。1泊2日の宿泊スタイルで行われ、1日目は座学研修、2日目は走行研修を行います。

座学研修の様子



座学の最後はグループで成果を発表します



座学はグループ単位で行い、ドライバー同士の懇親も深めます



グループワークでは、真剣な討論が行われました

走行研修

2日目の走行研修は、燃費計測装置などを取り付けたトラックを使用します。全長約2.5kmのコースに市内走行区間や郊外走行区間などを設定して状況に合わせた運転を行います。走行は2回行います。1回目は普段のとおりに行き、その燃費を計測します。2

回目は指導されたエコドライブ手法を使って走行し、その燃費の差異を計測します。また、ブレーキやアクセル、ギヤ操作なども適切に行われたかコンピュータで診断、各参加者に診断書が作成され運転の改善ポイントが指摘されます。



2.5kmの体験コースを様々な条件で走行します

走行研修の様子



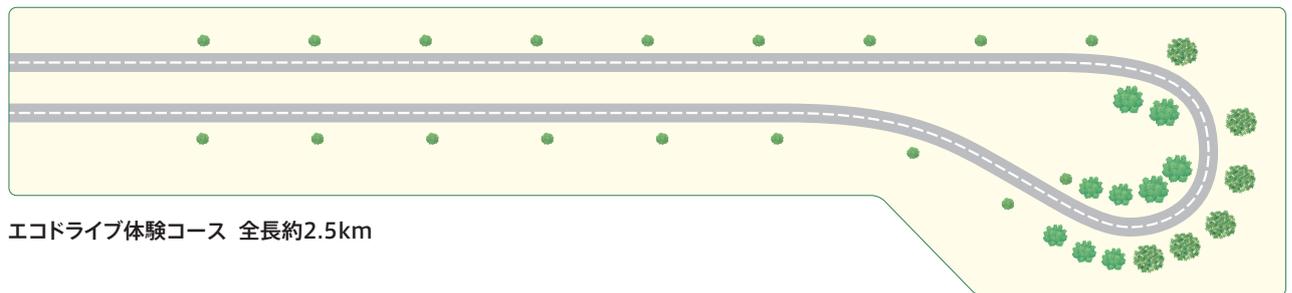
走行研修でもアルコールチェックをします



係員に誘導され、走行研修スタート!



成績優秀者は「優秀ドライバー」として表彰されます



エコドライブ体験コース 全長約2.5km

社員の声*参加者インタビュー



日本レコードセンター(株)
田中真次
ドライバー歴9年

実際に効果のあるエコドライブが、これまで行ってきた方法と異なっていたことに驚きました。特にアクセル操作が一番勉強になりました。エコドライブは環境はもちろん、安全や経費の削減にもつながるので、会社にもどり、今回の研修で覚えたことを広めていきたいと思っています。



ティーエルロジコム(株)
清水陽一
ドライバー歴25年

この研修に参加してよかったです。あらためてエコドライブの効果と安全運転の大切さを実感することができました。鉄道車両など超重量品の輸送を担当していますので、安全運転には十分配慮してきましたが、これからはエコ運転にも気を配って乗務します。



(株)全通
平本光孝
運行管理

普段ドライバーを指導している立場ですが、自分自身しっかりできていない部分を発見できてとてもいい研修になりました。この研修で学んだことをより分かりやすく日々の指導のなかでドライバーに教えていきたいと思っています。

* SBSグループのエコ安全ドライブ研修は、UDトラック株式会社様、いすゞ自動車株式会社様のご協力をいただいております



SBSグループ 低公害車の導入促進

低公害車導入率は25%から28%へ

SBSグループは低公害車両の導入を積極的に行っています。輸送条件や用途を考慮しながら、LPG車、CNG車、ハイブリッド車など環境負担が少ない車両の選定を行っています。2010年保有トラック車両は2,919台で、そのうち低公害車は817台となり全車両台数の28%を占めています。

低公害車の導入状況

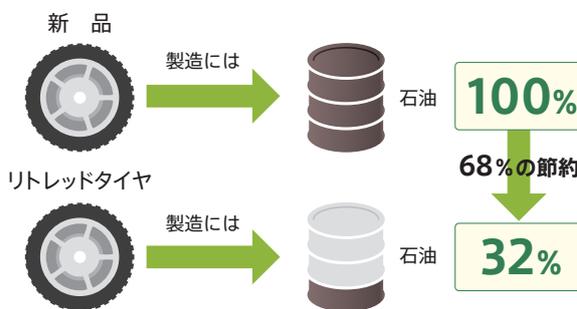
	2009年度	2010年度
全車両台数	3,175台	2,919台
低公害車		
LPG車	529台	549台
CNG車	108台	101台
ハイブリッド車	16台	19台
尿素車(規制適合車)	141台	148台
低公害車合計	794台	817台
低公害車導入率	25%	28%

SBSグループ リトレッドタイヤ推進中

リトレッドタイヤで、CO₂排出量を削減

リトレッドタイヤとは自社使用のタイヤを再生させたタイヤです。地面と接する部分を張り替えることで、新品に近い品質を確保しながら、少ないCO₂で作ることができ経済的なメリットもあります。当グループは環境対策への配慮から、リトレッドタイヤの導入を推進しています。当年度は687本導入し、全体の購入量の8%となります。

製品製造に必要な石油の割合



資料: 更生タイヤ全国協議会

SBSロジテム リヤカー付き電動自転車

環境に優しい集配業務を実施しています

1都3県に特化した企業間即日配送サービスを提供するSBSロジテムでは、特製リヤカーを付けた電動自転車での集配業務を行っています。オフィスや店舗が密集し交通渋滞が慢性化している秋葉原を対象エリアにしたサテライトオフィスを開設。トラックの使用を控え、自転車の高い機動力を活かすことで、エコでクリーン、そしてスピーディーなサービスを提供しています。



特注のリヤカーを付けた電動自転車。繁華街など商業密集地域でその威力を発揮します



これがリヤカー部分。振動で商品が破損しないよう、ケースはウレタン素材です

総合物流システム LED照明の導入

杉の木40本が1年で吸収するCO₂を削減

総合物流システム環境事業部では、東雲事業所の工場内と屋外駐車場の照明設備に省電力型LED照明を導入いたしました。従来と比較して明るさは2倍に、そして、電力消費量も約1/5となり、年間1,450kwhの電力削減を見込んでいます。環境負荷の軽減効果としては、CO₂排出量を年間で約550kg削減でき、これは樹齢50年の杉の木40本がおおよそ1年間に吸収する量に相当します。



直径25cmのとても大きなLED照明



照度が2倍となり、すっかり明るくなった工場内

ゴーヤ、アサガオ…緑のカーテン作りに挑戦しました

社員の声

震災の影響で節電が強く求められた今年の夏、全通は、窓への直射日光を優しく遮る緑のカーテンに挑戦しました。5月にゴーヤとアサガオの種を蒔き、社員が交代で朝・夕に水をやり、心を込めて育てた結果、7月には見事な緑のカーテンが完成。自然の力を利用した冷房効果は予想以上に大きく快適なものとなりました。一方、アサガオの赤や青の花は心を癒し、立派に育ったゴーヤの実には食欲を満たしてくれます。省エネ以外の効果も大いに実感した緑のカーテンでした。



緑の立派なカーテンができました



花がたくさん咲いたアサガオのカーテン



ティールロジコム(株)
平塚支店長 八木進一

平塚支店は、今夏の電力不足に少しでも協力しようと緑のカーテンで節電に取り組みました。西日の当たる窓に設置したのがよかったようです。自然の冷房効果は期待以上でした。ゴーヤはとてよく育ち、支店一同涼しさとおいしさの両方をいただきました。来年も是非続けたいと思います。

ゴーヤが西日をしっかり防いでくれました



環境に優しい商品を選んでいきます

全通では、生きるもの全てが共存できるように、地球温暖化防止策に貢献し、地球にやさしい企業として活動することを目的として、環境保全、環境負荷を考慮したグリーン購入活動に取り組んでいます。2011年3月にはグリーン購入法に基づく「株式会社全通グリーン購入ガイドライン」を制定。事務用品および業務用品(梱包資材や安全用具など)を購入する際の判断基準や考慮事項を明確にし、より一層の徹底と推進に努めています。

環境物品を選ぶ際に参考となる環境ラベル



出典：環境省総合環境政策局 環境ラベル等データベースより抜粋

商品にも環境にも優しい緩衝材



さまざまなサイズを作ること
使い勝手も良好です

シュレッダーの紙ごみをビニール袋に入れて作った緩衝材。大量に作ることはできませんが、廃棄物のリサイクルは環境に優しく、経費の削減にもつながります。

角2封筒ではペットボトル約50本分の茶殻を配合

SBSスタッフでは、茶殻を利用した封筒を使用しています。茶殻を使用することで木材パルプの使用量を減らし、森林伐採の軽減に貢献しています。



ほんのりお茶の香りが楽しめます



社会との より良い調和を図ります



社会に対する考え方

SBSグループは、持続可能な発展のために、株主をはじめ、お客様、従業員、取引先、地域社会などのステークホルダーの皆様と健全な関係の維持・発展に努めています。たとえば、均等な雇用機会の提供、従業員が悩みを相談できる窓口の設置、災害時の支援活動、地域でのボランティア活動、住民との交流、お客様の期待に応える高品質なサービスの提供……。SBSグループは、社会を構成する一員として、ステークホルダーの皆様との相互理解の促進や貢献活動に努め、社会とのより良い調和を図ってまいります。

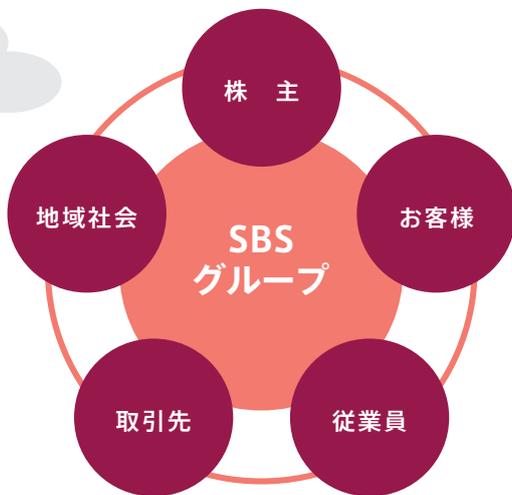


社会とのかかわりと 取り組み状況

2011年度の状況

	重点課題	取り組み状況
お客様	品質向上の取り組み強化	● ISO9001取得 ● 実務者教育、
	グループ統一研修の充実	● SBSグループ教育研修体系に基づく
従業員	自己啓発の支援	● グループ共通の通信教育制度
	健康管理の充実	● 産業医検診、メンタルヘルスケア等の
	就業環境の整備	● 職場何でも相談室の利用案内
	災害時の対策	● 食料、水、緊急備品、イーバックチェア
社会貢献	地域貢献活動	● 定期的な周辺清掃 ● 震災被災地
	エコキャップ運動	● エコキャップ回収運動 ・2011年11月、累計約44万個回収、CO ₂ 550人へワクチンを提供
	障がい者雇用	● 障がい者雇用の促進と物品購入
	募金活動	● 日本盲導犬協会への寄付

SBSグループと社会とのかかわり



1. お客様とともに

私たちの大切なお客様は、安定した物流品質を求めています。ISO9001品質マネジメントシステムの取得、環境面においてお客様への貢献を目指すためにISO14001環境マネジメントシステムの取得、さらに環境対策車両の導入を推進しております。今後とも、お客様へ高い品質の物流を提供し信頼に添えてまいります。

2. 従業員とともに

「従業員の育成」および「従業員の自己実現」を支援するためにキャリアプランに応じた「教育研修制度」、安全に配慮した「職場環境の整備」、安心して働くための「労務管理制度」を推進し、従業員が意欲的に働ける環境の構築を進めております。

3. 社会貢献

私たちの事業は広く社会との協調の中で営まれております。東日本大震災への支援、環境政策への対応、障がい者雇用等、地域社会のみならず社会全体への貢献と発展に寄与すべき活動を推進してまいります。



	重点課題	目標	
2012年度の計画	お客様	品質向上の取り組み強化	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO9001、14001の取得推進 ● グリーン物流の提案 ● 低公害車導入促進、エコ安全ドライブの推進
		従業員	スキルアップ・自己実現
	健康管理の充実		<ul style="list-style-type: none"> ● 産業医による健康相談体制の整備 ● メンタルヘルスケア体制の整備
	就業環境の整備		<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代育成支援対策の拡充 ● 労働災害対策の拡充 ● 災害・緊急時の安全対策、訓練
	社会貢献	地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃活動・森の整備活動
		エコキャップ運動	<ul style="list-style-type: none"> ● 回収運動の推進
		障がい者への支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用の促進と支援活動
	商品事故防止等		
	計画的な研修		
制度を拡充			
の備置			
への寄付金活動			
3,500kg削減、			



東日本大震災と SBSグループの状況

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。ここでは、この震災によるSBSグループへの影響および被災地の復旧・復興に向けた支援活動についてご報告します。

SBSグループの被災状況

地震と津波によってSBSグループの東北地方太平洋側の4つの拠点が甚大な被害を受け、誠に残念ながらグループ従業員4人の尊い命が失われました。当グループはただちに対策本部を設置し、安否確認や施設の被災状況の把握、従業員向けの救援物資輸送、支援スタッフの派遣などの対応にあたり、早期復旧による事業活動の継続に努めました。



震災直後の岩沼物流センター。津波で大量の瓦礫が散乱

事業拠点の復旧対応

東北・関東地方にある物流拠点では一部で建物のひび割れ、保管品の荷崩れや落下が発生しましたが、震災発生後1週間程度でほぼ復旧することができました。また、津波によ



修復を終え7月に再開した岩沼物流センター

り業務停止した4つのセンターのうち釜石を除く仙台地区の3センターが7月までに移転や修復により復旧し、業務を再開しております。

被災従業員に対する支援

家屋の倒壊や浸水、自家用車の流失など震災により被災した従業員とその家族の一日も早い復興を支援するため、グループの従業員、役員、組合など労使が協力して募金を行ったほか、家電製品や家具などの生活必需品の拠出を求め、希望者に提供しました。

被災地への緊急救援物資輸送

SBSグループは国、自治体、大手卸・小売業、食品メーカーなどからの要請を受け、大型トラックで延べ500台の緊急救援物資輸送を震災直後から約1ヶ月間に亘って行いました。救援物資は、食料品や飲料水、トイレットペーパーなどの日用品、毛布・布団類、下着類、タオル、マスク、カイロ、懐中電灯、簡易トイレなどです。



緊急支援物資の積み込み風景

義援金の寄付と募金活動

被災地の復興に役立てていただくため、当グループとして1千万円を日本赤十字社に寄付したほか、グループ各社の役員および従業員から寄付を募り同じく日本赤十字社を通じて被災地にお届けいたしました。



グループ各社に置かれた募金箱

節電対策とその成果

震災の影響による全国的な電力不足に協力するため、例年4か月間実施しているクール・ビズを5か月間に延長するなどグループ一丸となって節電対策に取り組みました。

- クール・ビズ期間延長と徹底
- 空調温度28度設定の遵守
- 照明の間引きおよび照度調整
- 緑のカーテンの実施など

その結果、グループ本社では、2011年6月から9月までの4か月間の使用電力量は、前年同期比で20%の削減となりました。

フーズレック ISO9001の認証取得を推進

品質向上への挑戦を続けています

フーズレックグループは食品物流企業の使命として、品質向上に努力を怠りません。その取り組みのひとつとして、庫内作業の業務にISO9001品質マネジメントシステムの認証取得を積極的に進めています。誰もがミス無く安定した作業を確実にこなせるよう環境を整備することが、お客様にご安心いただける品質の基礎となるからです。このISO9001の認証は現在まで庫内業務を行う事業所を中心に、全国43事業所で取得しております。これからもお客様にご満足いただける物流品質をご提供できるよう、不断の努力を続けてまいります。



SBSグループ エコキャップの回収運動

一人の思いがグループ全体の活動へ

SBSグループでは、2009年秋からエコキャップの回収運動を続けています。きっかけは、一人の社員の「エコキャップを集めてワクチンを贈ろう!」からでした。数人の賛同者が呼びかけ、啓発ポスターの掲示、会議や研修会をお願いするなど地道な努力で少しずつ回収量が増えました。その結果、累計で44万個を回収。550人の子どもたちにワクチンを贈ることができました。この運動はグループ全体にさらに広がりがつづいていきます。



全通 障がい者雇用の促進

社会参加と自立を支援します



全通では、障がいのある方々の自立をお手伝いできるよう、積極的に雇用を行っています。庫内業務を細分化し、誰もが働ける職場の創出に努めています。

SBSホールディングス イーバックチェアを設置

震災を教訓に備えを充実させています



震災時に負傷者が出たときに備え、イーバックチェアをグループ本社に設置しました。救助者が一人でも負傷者を安全に避難させることができる装置です。

ぱむ ハンディに負けず働く人を応援

クッキーを定期購入しています

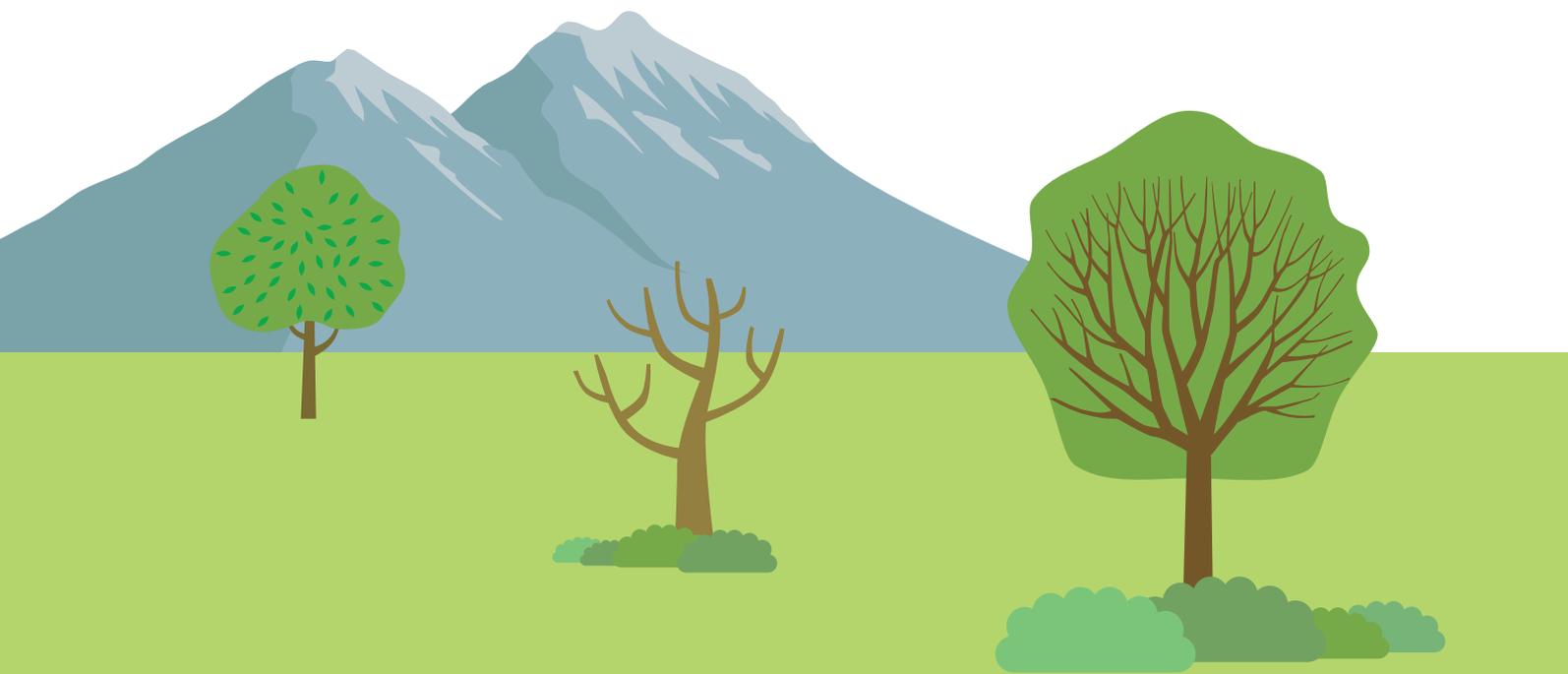


来社されたお客様にお出しするクッキーを、障がいのある方が働くパン屋さんで定期購入しています。購入したお菓子は、社員が心を込めてラッピングしています。

SBSグループ 職場何でも相談室を設置

職務上の悩み、気軽に相談できます

一人で悩まずに一緒に考える。「職場何でも相談室」は、仕事や職場に関する悩みを、何でも気軽に相談できる窓口です。現在は、女性相談員も配置して体制を拡充。相談は、PCメール・携帯電話・携帯メールなど多様な方法が選択できます。もちろん秘密は厳守されます。



[問い合わせ先]

SBSホールディングス株式会社

IR・広報部 CSR・環境対策推進室

〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3

☎ 03-3829-2240 / ☎ 03-3829-2822

🌐 <http://www.sbs-group.co.jp/>

